



## 故角田豊教授略歴・著作目録

著者	同志社大学人文学会
雑誌名	評論・社会科学
号	16
ページ	125-142
発行年	1979-11-20
権利	同志社大学人文学会
URL	<a href="http://doi.org/10.14988/pa.2017.0000001913">http://doi.org/10.14988/pa.2017.0000001913</a>

故角田豊教授略歴・著作目録

追 悼

同志社大学教授角田豊氏が亡くなって、やがて一年になります。一九七八年九月七日、主治医と、いまは未亡人となられた順子夫人のほか、ほんのわずかの家族や友人をのぞけば、ほとんど誰も予期しないうちに、彼は卒然として世を去ったのでした。予期しなかった者の中に、筆者も含まれていましたが、そんなことよりも、当の御本人がふくまれていると思います。

死の直前まで、執筆中の著書や論文について想を練っていた姿が眼にうかびます。九月からの講義内容についても同僚たちと打合せていました。あたらしく依頼される講演や論文を断るようになったのは、もう八月にはいつていたか、どんなに早くても七月だったはずです。それほど元気だったのです。少くとも気力にみちていました。

あとから考えれば、五六年という短い生涯の最後が迫って来るのに、果すべき使命は終るどころか、ますます増大するという状態だったので、無意識のうちにも全力を挙げて仕事に打ちこもうとしていたような気がします。

生前の角田教授と直接そういう話をしたことはありませんが、恵まれた環境に生い育ったとはいえ、満一歳で関東大震災に遭遇して以来、日本は遂に彼の最後までであらしに続くあらしだったといえましょう。大学時代は旧日本の断末魔に海軍士官として立会っています。そしてポツダム中尉として学園に帰還したところからは、日本どころか、世界全体が、それまで誰も予想していなかったような社会変動の渦に巻きこまれていきました。

俊敏なだけでなく、言葉の深い意味での理想主義に燃えていた若い魂は、変化する社会を科学するだけでは満足せず、そこから発生する問題に対して処方箋を書くとうつとめ、また実際に、情熱をこめて書きつづけたのです。いま、同僚たちの手で整理のついた著書・論文だけで二五〇に達しています。すべて法学、政治学、経済学の接点の問題であ

り、理想主義、人道主義の立場に立って論じています。労働法、社会保障法、社会福祉法、産業関係論の体系化につとめるとともに、現実的、具体的な健康保険、公害、あるいはまた賃金、年金の問題を扱い、堀木訴訟などでは特別弁護人さえ引受けています。産業社会の展開を追って、いわゆる労働者の経営参加を論じてもいます。

このように見て来ると、あと二〇年、それが無理でも、せめてあと一〇年、どうして生きて呉れなかったかとますます残念でなりません。いまも次つぎに現れる世界情勢の変化を前にして、角田君がいてくれたらどんな議論ができたろうか、と思わぬ日とてない有様なのです。

しかし、追悼が愚痴になってはいけません。ここにしるされた著作目録を通じて、その一つ一つに思い出を持つ人びと、また将来これらの労作に接する人びとが、故角田豊教授を偲ぶとともに、故人とおなじように変化する世界の問題と取りくんで下さるようになりますよう祈ります。

一九七九年七月

伊藤規矩治

### 故角田豊教授略歴



一九二二年(大正十一年) 八月一九日生  
一九七八年九月七日死去

本籍地 神奈川県逗子市桜山一五五五

#### 学歴

- 一九三九年四月 第一高等学校文科甲類入学
- 一九四二年三月 // 卒業
- 一九四二年四月 東京帝国大学法学部政治学科入学
- 一九四四年九月 // 卒業
- 一九四五年一〇月 東京帝国大学大学院(社会政策)入学
- 一九四七年九月 // 修了

#### 兵役

- 一九四三年二月～一九四五年八月
- 学徒徴兵、海軍二等水兵、予備学生、電測士
- 台湾・上海に行き九州生月島で終戦、海軍中尉

#### 職歴

- 一九四六年九月～一九四八年三月 中央労働学園調査部職員
- 一九四八年四月～一九四九年三月 中央労働学園専門学校助教
- 一九四九年四月～一九五一年八月 中央労働学園大学助教(社会学科)
- 一九五一年九月～一九六四年三月 静岡大学助教(文理学部法経学科)
- 一九六四年四月～一九七八年九月 同志社大学教授(文学部社会学科)
- 国際学会における報告

一九六六年

国際比較法学会、第六回国際社会法学会(ストックホルム)

一九七〇年 第七回国際労働法・社会保障学会(ワルシャワ)  
国際労働関係研究協会(IRRA)・第二回世界会議(ジュネーブ)

国際社会保障協会・第一七回大会(ケルン)

#### この間

- 日本労働法学会 理事
- 日本労働学会 常任理事
- 大阪労働安全衛生研修所 理事
- 社会保険審議会 委員
- 社会政策学会 幹事
- 社会保障法研究会 世話人
- 京都自治問題研究所 理事
- 大阪地方最低賃金審議会 委員
- などを歴任

著作目録 (※著、編書)

- 一九四六年 北米合衆国における請負契約法並びに公正労働基準法 労働問題研究3 中央労働学園
- 一九四八年 ※(譯註) 豫備制と団体交渉(ウィリアム・ゴムハーグ)『米国の労使協議制の發展』 海外労働叢書7 中央労働学園
- 戦後アメリカ労働運動の課題——経営参加から政治活動へ 労働問題研究26 中央労働学園
- 一九四九年 フランソワ・ラフィット著『社会保障制度——英国社会保障への道』(藤林敏三教授と共訳) 好學社
- 英国炭鉱の国有過程(『産業国管と労働者階級』中央労働学園調査所季報第一冊所収) 中央労働学園
- アメリカにおける経営参加(政治経済研究所編『産業社会化と労働組合の経営参加』労働問題全書5所収) 高山書院
- タフト・ハートルレー法の手続と救済について 労働問題研究35 中央労働学園
- 一九五〇年 産業社会学者のスト調査——社会進化和ヒエラルキー 労働問題研究44・45 中央労働学園
- 集団刺激賃金制の歴史の意味 労働問題研究47 中央労働学園
- 一九五一年 茨城県鹿島郡波崎町に於ける揚繰網漁業労働調査報告「漁業労働者運動とその組織」 水産庁
- 一九五二年 (調査) 漁業における賃金制度の研究 社会科学1 静岡大学文理学部
- 一九五三年 社会政策の「本質」考察のための序説——「飴」と「鞭」の問題 社会科学2 静岡大学文理学部
- 最低賃金制の画餅化について 日本労働法学会・労働法3 有斐閣
- 失業労働法の政策的背景 日本労働法学会・労働法3 勁草書房
- 一九五四年 労働法改悪の軌跡(今中次磨他著『ファシズムと軍事国家』所収)

故角田豊教授略歴・著作目録

労働権の研究(1)

諸外国における経営参加の研究——イギリス

最低賃金と賃金原則

実質的賃金と経済施設

経済不況に直面して職業安定行政に望む

労働権の研究(2)

失業労働法の最低性と労働運動

企業における福利厚生施設をどう理解したらよいか

労働協約の余後効について——討論参加

ピケを理由とした懲戒解雇——討論参加

解雇反対の共同闘争について

就業規則改正問題の背景と焦点

福利厚生に課せられた新しい使命

企業負担の厚生施設と公共施設、社会保障制度の関連をどうとらえるべきか

鉄鋼・賃上げ闘争と職場交流

労働法の歴史的形成・労働法の体系(鈴木安蔵・吉田力雄編『法学概論』所収)

団体交渉の拒否(講座「労働問題と労働法」②)『団結権と不当労働行為』所収)

資本主義と労働争議——争議権の歴史的発展——アメリカ

(講座「労働問題と労働法」③)『労働争議と争議権』所収)

企業整備における共同闘争と団体交渉——日鋼室蘭争議の分析

社会科学 3

季刊労働法 11

季刊労働法 13

福利厚生  
の理論と実体

職業研究 8

社会科学 4

日本労働法学会・労働法 7

労働経済旬報 26

討論労働法 47

討論労働法 49

労働法律旬報 238

季刊労働法 22

福利厚生研究会報 57

福祉対策資料 21

日本労働法学会・労働法 8

評論 社

弘文堂

弘文堂

季刊労働法 24

労働法学研究所

静岡大学文理学部

労働法学研究所

労働法学研究所

労働研究 所

雇用問題研究会

静岡大学文理学部

有斐閣

労働経済社

労働法懇談会

労働法懇談会

労働法律旬報社

労働法学研究所

労働法学研究所

労働法律旬報社

有斐閣

評論 社

弘文堂

弘文堂

季刊労働法 24

労働法学研究所

調査・宣伝・教育（講座「労働問題と労働法」(1)『労働組合の組織と運営』所収）  
弘文堂  
戦後退職金制度論序説  
討論労働法66  
有斐閣

労使協議会（日本労働法学会編『労働協約』労働法講座(4)所収）  
有斐閣  
戦後日本における賃金体系闘争の特質（社会政策学会年報『最低賃金制』所収）  
有斐閣

最低賃金制の焦点と課題（別冊法律時報『今日の労働問題』所収）  
日本評論社  
苦情処理（講座「労働問題と労働法」(4)『労働協約と就業規則』所収）  
弘文堂

社会権（鈴木安蔵編『日本の国家構造』所収）  
勁草書房  
企業整備反対闘争における共同闘争と団体交渉  
季刊労働法24  
労働法学研究所

（調査）伊東温泉旅館業の経済分析（共同執筆、豊川卓二）  
産業と科学1  
静岡大学法経学会  
（調査）ビキニ水爆実験の三隣マダロ漁業労働者に及ぼした影響  
漁業経済研究 Vol. 6, No. 1

（共同執筆、中村秀一郎）  
東大出版会  
（調査）静岡商店街の従業員退職金制度について  
福祉対策資料77  
労働法律旬報社

最賃論議とその焦点  
月刊労働問題創刊号  
産業と科学3  
静岡大学法経学会  
ILO条約批准の問題点  
福祉対策資料111  
労働法律旬報社

ILO条約と日本の社会保障制度の現状  
産業と科学7  
静岡大学法経学会  
（調査）八戸港における北洋、サケ、マス漁業独航船乗組漁夫の労働関係  
産業と科学7

（調査）水爆実験の三重県宿、田曾、尾鷲地区カッオマダロ漁業に  
東大出版会  
およぼした影響（共同執筆、豊川卓二・中村秀一郎）  
漁業経済研究 Vol. 6, No. 3  
東大出版会

（調査）水爆実験と日本漁業——焼津、三崎、尾鷲（近藤康男編三調査報告書所収）  
東大出版会  
伊東市史——現代篇（共同担当者、豊川卓二・鈴木富志郎）  
伊東市教育委員会



公務員の政治的中立と労働権

都市問題 Vol. 49, No. 3

東京市政調査会

一九五九年

当面する地方公務員の問題点——労働基本権

自治労働調査時報11

自治労働

——ILO条約87号と憲法28条

社会保障の企業化について

福祉対策資料121

労働法律旬報社

最賃第一号

月刊労働問題17

日本評論新社

安定賃金と賃金闘争

季刊労働法32

労働法学研究所

最低賃金法の制定・実施

日本労働法学会・労働法14

有斐閣

能登半島における北洋サケマス独航船の経営ならびに労働実態調査

(共同執筆、豊川卓二・田沢英一)

社会科学8

静岡大学文理学部

一九六〇年

最低賃金法の運用をめぐって

季刊労働法36

労働法学研究所

戦後日本における失業労働法の展開(学会十周年記念特集号)

日本労働法学会・労働法16

有斐閣

最低賃金法実施後の問題点

経営技術34

穂波出版社

労働災害と補償(講座『社会保障3』所収)

至誠堂

企業・組合の厚生福利対策と施設の役割(講座『社会保障4』所収)

至誠堂

労働者福祉の基本問題

銀行労働調査時報119

銀行労働研究会

「勤務先預け金」というもの

社会科学9

静岡大学文理学部

一九六一年

最賃制確立闘争の現代的意義

月刊労働問題35

日本評論新社

企業内福利厚生と組合活動の方向(労働者福祉の基本問題)

福利厚生研究会報11

福利厚生研究会

大量解雇反対闘争と企業別組合

日本労働協会雑誌28

日本労働協会

公務員の労働基本権制限にかんするノート

社会科学10

静岡大学文理学部

(調査) 八戸港におけるイカ釣子と北洋独航船漁夫(近藤康男編)北洋漁業の経済構造』所収) 御茶の水書房  
静岡県労働問題の特質  
静岡県労働時評創刊号 静岡県社会問題研究所

静岡県では公安条例は必要がない(静岡県新公安条例(案)解説と批判)

静岡県労働時評9 静岡県社会問題研究所

一九六一年労働界の回顧と展望

文化と教育12 静岡大学教育学部

団体交渉による賃金決定(後原三代平・舟橋尚道編)『日本型賃金構造の研究』所収)

労働法学研究所

一九六二年 公務員給与の本質について

都市問題 Vol. 53 No. 3 東京市政調査会

労働者の自主権社企業内福祉施設(日本の労働問題Ⅲ『社会保障』所収)

弘文堂

産業構造の変化と労働組合運動(日本の労働問題Ⅳ『労働組合運動史』所収)

弘文堂

静岡県の労働組合(静岡大学法経一〇周年記念論文)

産業と科学9・10 合併号 静岡大学法経学会

静岡県における中小企業の労働問題

静岡県労働時評2 静岡県社会問題研究所

大学管理問題と大学の自治

文化と教育14 静岡大学教育学部

団結権と組織形態(野村平爾教授選歴記念論文集『団結活動の法理』所収)

日本評論新社

大学管理制度の再検討をめぐって(1)

産業と科学11 静岡大学法経学会

一九六三年

団体交渉の委任(石井照久・有泉亨編、労働法大系2『団体交渉、労働協約』所収)

有斐閣

日鋼室蘭争議(藤田若雄・塩田庄兵衛編『戦後日本の労働争議』所収)

お茶の水書房

合同労組の組織論的検討(沼田稲次郎編『合同労組の研究』所収)

日本労働法学会・労働法21 総合労働研究所

炭労(政策転換闘争)その後の経過

季刊労働法49 労働法学研究所

職務給導入と労使関係(特集賃金政策の基本問題)

季刊労働法50 労働法学研究所

故角田豊教授略歴・著作目録

大学管理制度の再検討をめぐって(2)(完)

産業と科学 12

静岡大学法経学会

低所得階層対策の前提としての下田町の就業構造・労働市場及び所得の分析

産業と科学 13

静岡大学法経学会

一九六四年

憲法擁護をめぐる民主団体・労働組合の状況

(鈴木安蔵教授還暦祝賀論文集『憲法改正問題の本質』所収)

一九六五年

社会保障と無拠出制所得保障

季刊労働法 55

労働法学研究所

調整年金制度の問題点と効用

労働法学研究会報 618

労働法学研究所

同盟の発足

日本労働法学会・労働法 25

総合労働研究所

労働時間短縮と組合運動

日本労働法学会誌 26

総合労働研究所

家族手当と家族給付

日本労働協会雑誌 77

日本労働協会

憲法と生存権(憲法特集)

季刊労働と経済 5

京都府労働経済研究所

社会保障法の形成と機能(講座労働法10『現代法と労働』所収)

人文 79, 87

同志社大学人文学会

最近における社会福祉諸法の制定経過(一)

人文 79, 87

同志社大学人文学会

※社会政策講義

労働基本権——労働者のための法律入門

労調研シリーズ 25

労働調査研究所

日本の社会保障——法と現実のあいだ

法学セミナー 116

日本評論社

一九六六年

社会政策の必然性と社会保障(『大河内一男先生還暦記念論文集第1集』所収)

有斐閣

有斐閣

労働権(日本労働法学会編、新労働法講座I『労働法の基礎理論』所収)

有斐閣

有斐閣

所得保障の課題

週刊社会保障 Vol. 20 No. 379

社会保険法規研究会

同一労働、同一賃金

季刊労働法 59

総合労働研究所

今日の権利闘争、反合理化闘争の課題

労働法律旬報 587

労働旬報社

一九六七年

〔書評〕沼田・笹木『海員組合の組織と団体交渉』

法律時報 Vol. 38 No. 7

日本評論社

労使関係法研究会報告書の問題点

季刊労働法64

総合労働研究所

朝日訴訟最高裁判決をこうみる(アンケート) (人間裁判一〇年) 所収)

労働旬報社

社会保障の実質給付(1)(2)

(国際社会法学会第六回大会提出報告大会一般報告解説)

人文学92、97

同志社大学人文学会

社会保障法の法制的側面

季刊社会保障研究 Vol. 2 No. 4

社会保障研究所

最低賃金制の確立のために

賃金と社会保障423

労働旬報社

上部団体の団体交渉(新労働判例百選)

ジュリスト別冊13

有斐閣

医療保険制度発展への課題

週刊社会保障 Yo. 21 No. 426

社会保障法規研究会

一九六八年

※現代の社会保障(小倉襄二と共編、一九七〇年に改訂)

法律文化社

※社会保障法の課題と展望

法律文化社

戦後単産史9(全国一般)日本の産業別組合

季刊労働法69

総合労働研究所

—その生成と運動の展開(一九七一年に再録)

日本労働法学会誌32

総合労働研究所

勤評反対闘争事件判決の前進と問題点

人文学103

同志社大学人文学会

(書評)高梨昌『日本鉄鋼業の労使関係』

健康保険 Vol. 22 No. 3

ミネルヴァ書房

※社会保障の法律(講義案)

健康保険新報社

日本における社会保険法制の発展(氏原・小山他編『社会保険事典』所収)

健康保険 Vol. 22 No. 3

健康保険連

社会保険の公的扶助化問題

日本労働法学会誌33

総合労働研究所

一九六九年

最近における民間労組の動向

健康保険法の原点

有斐閣

健康保険法の原点

ジュリスト435

有斐閣

故角田豊教授略歴・著作目録

故角田豊教授略歴・著作目録

労使協議制の現状と問題点

季刊労働と経済 24

京都府労働経済研究所

法秩序における社会保障

季刊社会保障研究 Vol. 5 No. 1

社会保障研究所

健康保険と医療問題

健康保険 Vol. 23. No. 9

健康保険 連

児童手当における問題の所在

健康保険 Vol. 23. No. 9

健康保険 連

安保条約の歴史的経過（京都憲法会議・天野和夫編『憲法と安保体制』所収）

実務と法令 Vol. 7 No. 10

法律文化社

医療保険の制度改革（特集厚生省の医療保険抜本改革試案批判）

実務と法令 Vol. 7 No. 10

社会保険新報社

ILOと安全衛生・災害補償

日本労働法学会誌 36

総合労働研究所

労働市場の構造変化と労働組合

日本労働協会雑誌 134

日本労働協会

ILOと安全衛生基準

人文 学 117

同志社大学人文学会

一九六〇年代の労働問題

社会科学 12

同志社大学人文学会研究所

ハンガリー、ポーランドの社会保険

季刊社会保障研究 Vol. 6 No. 4

社会保障研究所

（書評）佐藤進著『社会保障の法体系（上）』

民商法雑誌 Vol. 62 No. 5

有斐閣

（書評）医療と法律——唄孝一『医事法学への歩み』

思想 556

岩波書店

大阪ガス爆発事故と労働災害

ジャーナリスト 452

有斐閣

生存権と福祉国家（基礎法学シリーズⅡ『現代の法理論』所収）

ジャーナリスト増刊

有斐閣

昭和四五年・今年の司法試験解答のポイント（社会政策）

法学セミナー 175

日本評論社

中央競馬労働組合編（共同執筆、村上正紀）『中央競馬労働組合運動史』

労働旬報社

The Wages Policy in Japan

OSSOLINEUM

（Actes du VII-ème Congrès International de Droit du Travail et de la Sécurité Sociale）Vol. III.

一九七一年

日本の労使関係把握についての若干の反省

(峯村光郎教授還曆記念『法哲学と社会法の理論』所収)

賃金政策(所得政策)の国際動向

医療費増大と今後の健康保険

Industrial Relations 理論の展開と日本の労使関係

老人の社会保障(特集老人問題)

家族(西山卯三編)『二世紀の設計』所収、共同執筆三塚武男・宮城 宏)

公害と職場の人権意識

老人の福祉について

昭和四十六年度・今年司法試験問題の解説(社会法以覧)

七〇年代医療保障の課題と展望

国際社会法学会第七回大会

(書評) 桑原昌宏『労働災害と日本の労働法』

一九七二年

社会福祉と国民の権利(籠山京教授還曆記念『社会福祉と生活構造』所収)

老人福祉(中川善之助・佐藤進編、実用法律事典9『社会福祉』所収) 第一法堤出版

現代日本の産業社会における人間疎外と労使関係(日本労務学会編『経営労働における疎外と参加』所収) 中央経済社

出稼農民の事故死と損害賠償請求——奥村組事件

(書評) R・M・テイトマス(三浦文夫監訳)『社会福祉と社会保障——新しい福祉をめざして』 季刊労働法誌 総合労働研究所

年金制度の考え方について(1) 季刊社会保障研究 Vol. 8 No. 2 社会保障研究所

季刊社会保障研究 Vol. 8 No. 3 社会保障研究所

有斐閣

評論・社会科学創刊号 同志社大学人文学会

健康保険 Vol. 25 No. 6 健保連

日本労働協会雑誌148 日本労働協会

ジュリスト495 有斐閣

勁草書房

治安と人権40 治安協会

徳光16 社会福祉法人徳光園

法学セミナー183 日本評論社

賃金と社会保障562 労働旬報社

日本労働法学会誌37 総合労働研究所

竜谷法学 Vol. 4 No. 3 竜谷大学法学会

光生館

児童扶養手当と障害福祉年金——堀木訴訟における併給問題

健康保険 Vol. 26 No. 4 健 保 連

今日における社会保障制度の課題

健康保険 Vol. 26 No. 10 健 保 連

堀木訴訟第一審判決について

実務と法令 Vol. 10 No. 11 社会保険新報社

児童扶養手当と年金の併給——堀木訴訟を中心として

季刊労働法86 総合労働研究所

※社会保障法入門(窪田・佐藤と共編)

法律文化社

労働政策(西原道雄編『社会保障法』所収)

有 斐 閣

現代社会保障法の課題

日本労働法学会誌40 総合労働研究所

(座談会)年金制度のあり方(伊部英男、廻神英雄、小寺勇、佐藤進、松本栄一と)

ジュリスト522 有 斐 閣

最低賃金法概説(有泉亨・青木宗也編『労働法Ⅱ』別冊法学セミナー基本法コンメンタール10 日本評論社

今日における社会保障の課題(第一二回社会福祉夏期大学講義録『幸福の指標』所収) 兵庫社会福祉協議会

一九七三年 雇用と福祉(特集「現代の福祉問題」)

ジュリスト537 有 斐 閣

年金をめぐる動向

日本労働法学会誌42 総合労働研究所

(論評)年金、手当併給禁止の逆攻勢

週刊社会保障 Vol. 27 No. 713 社会保険法研究会

——堀木訴訟の控訴審はじまる——

真の福祉とは何か(巻頭言)

生活と福祉203 全国社会福祉協議会

わが国労使関係の特質と今後

滋賀労働261 滋賀県商工労働部労政課

年金制度一元化の課題と将来(社会保障読本一九七三年版——健保・年金の現状と問題点特集——)

週刊社会保障 Vol. 27 No. 734 社会保険法研究会

雇用保険法案の法制上の問題点

ジュリスト558 有 斐 閣

一九七四年

労働法と社会政策(沼田稲次郎先生還暦記念(上))『現代法と労働法学の課題』所収) 総合労働研究所

労働組合の新しい生活要求と労使関係（日本労務学会編『変革期の経営労働問題』所収）

※生活福祉供給体制の欠落と労働者福祉（現代社会保障叢書5『労働者福祉』所収）

汗流の復滞と雇傭労働事情

社会福祉辞典（伴村・一番ヶ瀬・重田・吉田編）

社会主義法制度における労働協約の展開

※現代社会保障小事典（小倉襄二と共編）

団体交渉、集団交渉の拒否、対角線交渉命令——全金石川地本事件

労働協約、労働協約書の署名——トヨタ自動車工業事件（労働判例百選）

ILOと安全衛生、災害補償（労働安全衛生大学講座テキスト第一五集）所収

医療保険をめぐる諸問題と今後の課題

経営参加の現状と今後

企業防衛と生活防衛

所得保険と福祉の拡充（今週の論評）

激動下の社会保障（今週の論評）

一九七五年

不況、インフレ下の社会保障の役割

所得保障関係部分（分担執筆、小山・山本編『社会保障教室』所収）

最低賃金法制の理論的諸問題

転機に立たされた春闘

（翻訳）セグド大学教授ラースロ・ナジ「ハンガリーにおける労働組合の法的地位」

中央経済社  
至誠堂

評論・社会科学8 同志社大学人文学会

誠信書房  
ジュリスト556 有斐閣

法律文化社

別冊ジュリスト45 有斐閣

労働安全衛生研究所

健康保険 Vol. 28 No. 1 健保連

滋賀労働報 滋賀県商工労働部労政課

治安と人権57 治安協会

週刊社会保障 Vol. 28 No. 774 社会保険法規研究会

週刊社会保障 Vol. 28 No. 782 社会保険法規研究会

健康保険 Vol. 29 No. 3 健保連

日本労働法学会誌45 総合労働研究所

日本労働法学会誌46 総合労働研究所

評論・社会科学9 同志社大学人文学会



一〇二号条約批准と今後の課題

日本労働協会雑誌195

日本労働協会

労災保険法改正と今後の課題

月刊労働問題204

日本評論社

ILO一〇二号条約批准の問題点

賃金と社会保障678

労働旬報社

企業福利施設闘争の性格変化

現代の労働No. 2

労働問題研究会

低成長時代と福祉政策の行方

月刊福祉11月号

全国社会福祉協議会

労災保険の法的性格と損害賠償——四十八商會、三十二商會事件を中心に

労働判例230

産業労働調査所

一〇二号条約の審議未了(巻頭言)

受験新報290

法学書院

児童扶養手当と障害福祉年金との併給に関する法制的諸問題

ミネルヴァ書房

(黒津右次、藤原精吾編『全盲の母はたたかう』所収)

週刊社会保障 Vol. 29 No. 807

社会保険法規研究会

最賃制の現実と生存権闘争

週刊社会保障 Vol. 29 No. 823

社会保険法規研究会

難局下の社会連帯

治安と人権61

治安協会

憲法軽視と人権思想の欠落

健康保険 Vol. 30 No. 6

健康連

今日の経済情勢と健康保険

ジュリスト615

有斐閣

堀木訴訟第二審判決(昭和五〇年度重要判例解説)

法律時報579

日本評論社

各国にみる社会保障水準

週刊社会保障 Vol. 30 No. 885

社会保険法規研究会

社会保障と費用負担(社会保障読本一九七六年版)

季刊社会保障研究 Vol. 12 No. 2

社会保障研究所

(書評)平石・保坂・上村共著『欧米の社会保障制度』

季刊社会保障研究 Vol. 12 No. 2

社会保障研究所

健保制度の改正と保険財政の行方——社会保険料三、七問題と保険制度の検討

労働法学研究会報 Vol. 27 No. 43

総合労働研究所

疾病構造の変化と医療保障

看護技術 Vol. 22 No. 14

メヂカルフレンド社

一九七六年

積まれてきた医療保険の難問

社会保険と労務 Vol. 12 No. 8 日本社会保険労務士会

原点は労働者生涯の構造変化(特集「社会福祉の転機」)

地域福祉 日本生命済生会社会事業局

原点機能と上積み機能を生かせ

労使の焦点78 生産性労使会議

老人の福祉に関する調査報告書、徳、福行政の現状と課題(共同執筆、三塚武男)

大阪市職

「就業における男女平等について」にふれて——就業における男女平等問題研究会議報告書

労働法律旬報95 労働旬報社

一九七七年 ※社会保険法の現代的課題、

(提言) 低成長時代の生活保障を

賃金と社会保険71 労働旬報社

財政計算結果と厚年、国年の課題

健康保険 Vol. 31 No. 6 健保連

婦人の権利についての国際動向(坂青・小倉編「婦人の生涯と社会保障」所収)

法律文化社

※労働者と社会保障の歴史(『労働者のくらしと社会保障』真田是と共編)

法律文化社

労災保険法改正と今後の課題(松尾・小川編『日本の社会保障』所収)

日本評論社

社会保障法——一九七七年学界回顧

法律時報 Vol. 49 No. 14 日本評論社

労災補償の保険事故、失業保険金の法的性質(社会保障判例百選)

別冊ジュリスト 56 有斐閣

年金における生活保障の国際原則

季刊社会保障研究 Vol. 13 No. 1 社会保障研究所

社会保障と生存権闘争(天野和夫・片岡昇編『現代法学入門』所収)

法律文化社

社会福祉と法(委員会報告福祉と教育と健康と)

日本学术会议社会福祉問題特別委員会

年金積立金管理運用の課題と対策(社会保障読本一九七七年版)

週刊社会保障 Vol. 31 No. 934 社会保険法規研究会

司法試験論文式問題解説(社会政策)

法学セミナー 770 日本評論社

新しい政治の流れと労働運動の展望

治安と人権 66 治安協会

一 九七八年 医療保険制度の現状と今後の課題

健康保険 Vol. 32 No. 1 健保連

高齢化と所得保障（別冊・年金制度の再編成）

季刊労働法・別冊 3 総合労働研究所

※日本—公的年金制度をめぐる問題点と課題（『高齢化社会と社会保障』奈倉道隆と共編）

法律文化社

※社会保障法（現代法律学全集49）

青林書院新社

社会保障の権利（末川先生追悼論集『法と権利』④所収）

民商法雑誌 Vol. 78 臨時増刊

有斐閣

現代の社会保障（京都憲法会議・天野和夫編『住民の暮らしと憲法』所収）

法律文化社

社会福祉における人権問題の課題

社会福祉研究 22 鉄道弘済会

司法試験問題 52 年度解説——出題傾向と受験の心がまえ（社会政策）

法学セミナー増刊 日本評論社

司法試験論文式問題解説——七八年版（社会政策）

法学セミナー 282 日本評論社

一 九七九年

司法試験問題 52・53 年度解説——七九年版（社会政策）——出題傾向と受験の心がまえ

法学セミナー増刊 日本評論社

※日本資本主義と労災・職業病、公害（『現代の労働と健康を守る権利』細川・辻村と共編、所収）

※社会保障における勤労者負担の問題（『労働運動市民運動法律事典』所収）

法律文化社

（付記）論文、調査報告等は多数にのぼるため、このほかに遺漏したり省略したりしたのもあることをお断わりする。

大月書店